

令和7年3月5日 (R6-017)

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

県内企業4社のDXシステム開発成果報告会を開催します

地方独立行政法人岩手県工業技術センター（理事長 熊谷泰樹／盛岡市）では、本年度、**県内企業のDXに関するシステム開発**をご支援して参りました。この度、その成果を**参加企業4社からご発表いただく成果報告会**を開催いたします（DXリアルハッカソン事業 第3回DXシステム開発会議）。

本事業では、生産プロセスや製品開発へのデジタル技術導入を目指す参加企業から、技術者が集まり、技術習得や相互の交流を通じて、当センターとともに自社課題の解決を目指しました。

今回の報告会では、その**デジタル技術導入の成果やプロセス、効果などについてご報告**いただきます。なお、本事業は、DXリアルハッカソン事業（DXシステム導入支援強化業務、岩手県委託事業）により実施したものであり、**本年度が最終年度**となっております。

日時	令和7年3月12日（水） 13時30分～15時30分
会場	岩手県工業技術センター 1階 小ホール [〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-25 TEL:019-635-1115]
主催	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
定員	20名
内容	1 DXシステム開発の取り組みについての成果報告（4社） 株式会社宮古マランツ（宮古市） インターワイヤード株式会社（奥州市） 株式会社キンレイ（奥州市） 有限会社イグノス（北上市） ※裏面に各社の報告内容を記載しています 2 今年度の取組結果まとめ、当センター支援メニューのご紹介



本年度第1回ワークショップ



昨年度の成果報告会

報告内容（順不同）

- 株式会社宮古マランツ（宮古市、電子機器設計・製造）
ROS（ロボットオペレーティングシステム）を用いた搬送ロボットの開発を行い、工場内の部品搬送の自動化を目指しました。
- インターワイヤード株式会社 岩手胆沢工場（奥州市、電線・ケーブル等設計・製造）
各種センサを用い、作業工程の情報を収集・分析して可視化するプログラムを設計しました。製造プロセスの効率化が期待できます。
- 株式会社キンレイ（奥州市、電線製造機械製造）
製造した装置の検査を、手作業から振動センサに置き換えて自動化することを目的に、実証試験を行いました。また、AI等を用いたデータ分析も検討しました。
- 有限会社イグノス（北上市、画像処理関連製品開発・販売）
工業製品の画像検査にAIを適用する際、一般的には大量の良品及び不良品データが必要とされますが、良品データだけに基づく検査用AIを構築し、性能を評価しました。

【参考情報】

- 一般参加者向け開催案内
（岩手県工業技術センターウェブサイト）
<https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/news-detail.php?id=524>
- 過去の本事業の成果例
（岩手県工業技術センター最新成果集）
<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/study/newreport/R6newreport.pdf>
※『最新成果集2024』をご参照ください。
3ページに同事業の過去の成果事例を掲載しております。



◆ 地方独立行政法人岩手県工業技術センター

「創るよろこび・地域貢献」を基本理念として、県内企業への幅広い技術支援を実施。

7部門の研究部（電子情報システム部、機能材料技術部、素形材プロセス技術部、DX推進特命部、産業デザイン部、醸造技術部、食品技術部）を設置し、技術相談への対応、依頼試験や機器貸出、企業との共同研究などを行っています。

1873（明治6）年創立。2023年に創立150周年を迎えました。